

平成29年度 第2回がまごおり協働まちづくり会議議事要旨

日時 平成29年10月30日(月)

午後2時～4時30分

場所 蒲郡市役所新館6階601会議室

1 開会

会長あいさつ。拾石町区総代及び副総代(モデル事業)ご出席の紹介

事務局より欠席及び遅刻者の報告

青年会議所次年度まちづくり委員会委員長予定者小田さん引き継ぎ出席

2 議題

(1) 第1回会議要旨の確認(別紙1)

次回までに、第1回会議要旨の確認を依頼

(2) 今年度助成金事業の進捗状況

今年度採択事業について、スライドを用いて説明

〈委員からの意見〉

自治会が行う事業(居場所など)は、長寿課、福祉課、保健センターなど、様々な部署からおりてくる。相談にいけるところが欲しい。その役目を協働まちづくり課に担ってもらいたい。

PCDAサイクルを回すことが重要である。

縦割りの部署を統括することが重要であるが、一方で、縦割りでないといけないこともある。市民サイドの協働を推進していくうえで、会議が認識していることが大事である。

学校教育と協働まちづくり課の連携について探るグループを作るのも良いと思う。

(3) 今年度モデル事業の進捗状況

拾石地区総代より、今年度実施モデル事業の進捗状況について説明

〈質疑応答〉

共助のための備蓄はしているか?⇒ためているところである

避難訓練時に、備蓄食料を住民と食べるなどすれば意識が高まるのでは?

⇒市からもらったα米を配布する予定(食べない)

〈委員からの意見〉

市の防災計画はできているが、地区防災計画は今後の課題。言いにくいことも言って欲しい。

アンケートに興味がある。(了解をもらったうえで)誰が何をできるかなどを把握するなどしたらどうか。小さなコミュニティだからこそできる。

要支援者数など、地域の方が的確な人数を把握している。拾石は、自治会と民生委員の連携（土台作り）がしっかりしている。

防災マップは、その形をテンプレートにすれば、他地区でも活用できる。

拾石がモデル地区となり、課題なども合わせて各地区に伝えていって欲しい。

〈その他〉

市民まちづくりセンターが、課題を資料化して会議に提出する予定

(4) 助成金制度見直しに伴うアンケート調査について

事務局より、進捗状況、アンケート調査、結果及び分析等について説明

(5) 助成金制度見直し（案）

- 1 審査表の見直し
- 2 応募までの流れの見直し
- 3 その他の要綱改正
- 4 新規事業（モデル事業の検討）について
- 5 審査について

事務局より、「1」について、審査表において、公益性を高める、加点項目を加え公益性の内容、合格点について説明。「2」について、応募までの流れの見直しで書類の審査から事前審査に改正することを説明。事前審査は、蒲郡市民まちづくりセンター及び協働まちづくり課で行う。「3」において、要綱の改正箇所について説明。「4」について、モデル事業の検討について説明。来年度助成金事業の審査日を、例年にならって2月25日（日）としたい。

〈委員からの意見〉

ひとを育てるための過程の補助は重要だと思う

ワーキングで議論した内容（サポート、マッチング、人づくり等）は、今後も議論していくべきである。

モデル事業については、行政・委員両方から意見を出してもらおう。次回までにテーマや意見を考えてきていただきたい。

審査員の選任は、会長一任でよい。

〈事務局より〉

予算の時期であるため、仮おきとしてモデル事業150万、助成金事業300万円としたい

(6) その他

- ・まちづくり賞について
- ・次回開催時期について

事務局より、まちづくり賞の授与について、「赤い電車」は諸事情により見送り願いたい旨を説明し、了承された。候補があれば、次までに考えてきていただきたい。

次回開催は、12月11日（月）午後2時～